

山口情報芸術センター [YCAM] イベント

Audio Base Camp #2

2023年9月22日(金)～24日(日)

山口情報芸術センター [YCAM] スタジオA

山口から始まる録音物の冒険！

国内でも最高レベルの音響環境で楽しむオーディオ体験

山口情報芸術センター [YCAM] では、高品質な大音量の中でレコードやCDなどの録音物を聴取するリスニングイベント「Audio Base Camp (オーディオ・ベース・キャンプ) #2」を開催します。

Audio Base Campは、国内でも最高レベルの音響環境と言われるYCAMのスタジオAに、ライブ・コンサート向けの大規模かつ高品質なスピーカーをセッティングし、特定のテーマに沿った録音物を楽しむイベントで、今回が昨年に続いて2回目の開催となります。

アーティストでサウンドエンジニアの大城真を監修に迎え、研究者やアーティスト、ミュージシャンなどさまざまな専門家が、自作の楽曲や、フィールドレコーディング、アンビエント音楽といったテーマに応じて多種多様な録音物を紹介します。またレコードに造詣の深い「目利き」とも言えるDJたちによるDJプログラムも開催。

繊細かつ大迫力の音響に身を委ねながら、録音物を楽しむ本イベントは、人間の基本的な行為である「聞く／聴く」を捉え直すとともに、録音物を通じた音の冒険へと鑑賞者を誘います。この機会にぜひ鑑賞ください。

この機会に、取材や記事掲載にご協力いただけますよう、よろしくお願い申し上げます。

[お問い合わせ]

山口情報芸術センター [YCAM] 学芸普及課

〒753-0075 山口県山口市巾着町7-7

TEL：083-901-2222 メールアドレス：press@ycam.jp ウェブサイト：www.ycam.jp

取材に関するお問い合わせ、プレス用写真等ご入用の方は上記までご連絡ください。



2022年に開催した「Audio Base Camp #1：はじめてのガチ聴き」の様子
(撮影：谷康弘)

専門家による珠玉のラインナップ

トクサノカンダカラ

9月22日(金)

音響技術者の宇都宮泰が2001年に学習教材用作品として発表した「トクサノカンダカラ」の秘密を自ら紐解きます。本作は、クリス・カトラー、フレッド・フリス、ダグマー・クラウゼによって結成されたイギリスの前衛的ロックバンドであるアートベアーズの楽曲「オン・スーサイド」(1978年)の宇都宮によるリミックスであると同時に、その過程を記録した音源集でもあります。通常のリミックス作品のような、一種のリアレンジ的なアプローチではなく、楽曲の根本をなすメロディーの構造自体を作り変えながらも維持される楽曲の同一性を通して、音楽の本質の謎を紐解いていきます。



宇都宮泰

アンビエント・リサーチ

9月23日(土)

360°recordsなどのレーベルを運営してきた虹釜太郎と、美学研究者の金子智太郎が主宰する、アンビエント・ミュージックの可能性を探求する連続研究会型イベントです。毎回テーマを定め、資料などを見ながら音源を聴いてきました。第1回「人間は本当に必要か」(2010年)。第2回「サウンド・マター」(2010年)。第3回「ディストピア」(2010年)。第4回「不在」(2020年、非公開)。第5回となる今回のテーマは「アイソレーションイズム」です。



虹釜太郎(左)と金子智太郎(右)

75年前のマイクで音を録る — 大土蔵録音設計図

9月23日(土)

戦前に製造されたレコード(SP盤)の復刻を手がけるプロデューサー・保利透が近年取り組んでいる「大土蔵(おおどぞう)録音」について紐解きます。「大土蔵録音」は、戦前のマイクや歌唱法など、録音をとりまく様々な要素を再現して、当時の流行したジャズなどの楽曲を録音した音源のシリーズで、「大土蔵録音2020」は、第34回ミュージック・ペンクラブ音楽賞のポピュラー部門で最優秀作品賞を受賞しました。今回は、保利に加え、山田とギタリスト武村篤彦の音楽ユニット・泊を迎え、1本のマイクのみを使用し、演奏者たちの位置や演奏そのもので音のバランスを調整する当時の録音手法の実演を交えながら、当時の音楽制作について考えを深めていきます。



保利透(左)と泊(右)

専門家による珠玉のラインナップ

フィールド・レコーディングを通して感応する世界 9月24日(日)

フィールドレコーディング作家の柳沢英輔の活動を柳沢自らが回顧します。柳沢は、これまでベトナム中部の金属打楽器ゴングをめぐる音の文化について研究を行うとともに、場所や空間の特徴的な響きに焦点を当てたフィールドレコーディング作品を制作してきました。2022年にはフィールドレコーディングをひとつの音楽ジャンルとしてではなく、幅広い視点で捉え直した著書「フィールド・レコーディング入門 響きのなかで世界と出会う」(フィルムアート社)も発表、音楽本大賞を受賞するなど注目を集めている。このプログラムでは、柳沢の活動やその背景にある方法論について、実際に音源を交えながら紹介していきます。



柳沢英輔

ミャンマー音楽の謎めいた世界へ

9月24日(日)

ギタリストで、ミャンマー音楽研究家の村上巨樹が継続的に開催する、日本で唯一のミャンマー音楽に焦点を当てたトークイベントがAudio Base Campに登場。クーデターやコロナ禍によって、一時期に比べると渡航が難しくなってしまったミャンマー。そこには独特な音楽文化が根付いています。村上は2016年以降、毎年ミャンマーに渡り、現地の音楽を調査してきました。ここでは、奇妙かつ美しく進化したミャンマー音楽の独自性や魅力について、現地に足繁く通う村上が収集したレコード、カセット、CDなどを通じて紹介します。



村上巨樹

開催概要

Audio Base Camp #2

2023年9月22日(金)～24日(日)

山口情報芸術センター [YCAM] スタジオA

要チケット購入(詳細は右欄参照)

※未就学児入場不可

タイムテーブル

9月22日(金)

19:00-21:00 宇都宮泰「トクサノカンダカラ」

21:30-24:00 DJプログラム#1 (AKIRAM EN / EMARLE / パク・ダハム)

9月23日(土・祝)

12:30-15:30 虹釜太郎+金子智太郎「アンビエント・リサーチ」

16:30-18:30 保利透+泊「75年前のマイクで音を録る — 大土蔵録音設計図」

19:30-22:00 DJプログラム#2 (DJ pin + なべこ + 李ペリー)

9月24日(日)

13:00-15:00 柳沢英輔「フィールド・レコーディングを通して感応する世界」

16:00-18:00 村上巨樹「ミャンマー音楽の謎めいた世界へ」

19:00-21:00 スペシャルプログラム: プレイバックセッション

並行して館内1階ホワイエでもDJによるパフォーマンスを開催

関連プログラム

Audio Base Camp レーベルフェア

9月22日(金) 16:00～21:00、23日(土)・24日(日) 12:00～19:00

イベントに合わせて、出演者ともゆかりの深い国内のレコードショップ兼音楽レーベルが店出します。

出 店: Art Into Life、EM RECORDS、Organic Music、sextans、Tobira Records、pianola、p. minor、forever records ほか

監修: 大城真 (Basic Function)

主催: 公益財団法人山口市文化振興財団

後援: 山口市、山口市教育委員会

助成: 文化庁文化芸術振興費補助金

劇場・音楽堂等活性化・ネットワーク強化事業(地域の中核劇場・音楽堂等活性化)

独立行政法人日本芸術文化振興会

技術協力: YCAM InterLab

企画制作: 山口情報芸術センター [YCAM]

■ チケット情報

発売日: 7月1日(土) 10時～

チケット料金 [全席自由]:

[1回券]

前売

一般 1,300円

any 会員 / 25 歳以下 / 特別割引

800円

高校生以下 無料

当日

一般 1,500円

高校生以下 無料

[DJプログラム1回券]

前売

一般 2,000円

any 会員 / 25 歳以下 / 特別割引

1,500円

高校生以下 無料

当日

一般 2,500円

高校生以下 無料

[フリーパス]

前売のみ

一般 4,800円

any 会員 / 25 歳以下 / 特別割引

4,000円

高校生以下 無料

※高校生以下もチケットの発券が必要となります

※ご購入後の返金不可

※前売券の販売は9月21日(木) 19時まで

チケット購入方法はYCAMのウェブサイトをご確認ください。

ウェブサイト:

www.ycam.jp

託児サービス

要問い合わせ